



令和元年度 3月の園だより
～ぽかぽかドキュメンテーション最終号～



日出みみょう乳児園・幼稚園

「新型コロナウイルス感染症拡大防止の
対応について」

保護者の皆様には、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、毎朝の検温や手指消毒など、ご協力を頂きありがとうございます。

このたび、国において、小学校、中学校、高等学校等の臨時休業の要請が行われたことを受けて、保育園の対応はどうかと保護者の方から心配の声がありました。

現在のところ、保育室や玩具の消毒、換気、温度・湿度の管理等を行い、感染の予防に留意した上で、通常通り開園しています。園で37.5度以上の発熱が見られるときは、咳がでているか、食欲や機嫌はどうかなど、いつもと様子が違うということを目安に保護者の方に連絡を入れさせていただいています。お仕事の都合もありますが、熱が出たあとは、一日様子を見るなどの配慮をしていただくと安心です。また、配布したプリントにもありましたが、園児本人及びご家族に感染が確認された場合は速やかに園にご報告ください。

3月は、卒園式や入園説明会などの大切な行事があります。今のところ、予定通りですが、地域で感染が拡大した場合や、園児や職員が罹患した場合は、対応が変わることもありますので、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、保護者の皆様には引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度も、最後の月となりました。子どもたちが、元気に楽しく過ごせるようにと願っています。栄養バランスと十分な睡眠に留意して乗りきれますように願っております。

この一年の子どもたちの育ちを「ぽかぽかドキュメンテーション」に主任がまとめています。どうぞご覧ください。 園長

新しい出会いの中で

大好きなお父さん、お母さんと離れることが、不安でいっぱいだった子どもたち。新しい環境に戸惑う姿も見られましたが、「お母さん大好きよね。」と子どもたちの気持ちに寄り添い、子どもたちがワクワクする環境を工夫しながら過ごす中で、少しずつ表情が和らいでいき楽しく過ごせるようになりました。



そして、人が大好き！！

保育園には、保育者だけでなくいつも側には、小さな赤ちゃんやお兄ちゃん、お姉ちゃんそして大好きな友だちが…。一緒に過ごす中でいつの間にか、泣いていると優しく頭をなでたり、「やってあげようか」と手を差し伸べたり、時には、「〇〇ちゃんの」とケンカをしたり、笑い合ったり…。また、公園に行くと地域の親子やおじいちゃんおばちゃんにも「おはようございます」と自然と声をかける姿も…。たくさんの人との出会いは子どもたちに、思いやりや人と関わることの楽しさなど様々な感情を味あわせてくれました。



かわいいね、よしよし

鬼のお面をつけて地域の方にご挨拶！



安心できる大好きな大人との関わりの中で

子どもたちは、安心感を基盤に「これなあに？」と出会うものすべてに興味を広げていきました。じーっと見つめてみたり、触ってみたり、時には、「くんくん」匂いを嗅いでみる姿も…。こうした、様々なもの（自然物や廃材、虫や植物）との出会いは、発見したり、驚いたり、やってみたい、と子どもたちにたくさんの心動く瞬間をくれています。



保護者の方がもって来て下さった自然物や廃材

おたまじゃくしに足がある？

どれにしようかな？

そして異年齢で関わりながら遊ぶ経験は、お兄ちゃんたちすごい！！ぼくたちもやってみたいという憧れの気持ちや、小さいお友だちに頼られる誇らしさや自信へと変化していきました。



これでやってみて？

じゃがいもパーティー始まるよ！

しろくみさんの剣道、かっこいいね！

一人ひとりの子どもたちが、様々な環境の中から、選択し、集中して遊べる楽しい保育を計画してきました。その中でも特に今年度は、離れた園舎の垣根を超えて、異年齢の関わりを意識しながら1年間過ごしてきた中で、“人と関わる力”“考える力”など、これから先の育ちに大切なたくさんのことが育っていると感じています。子どもたちは今、進級、進学に向けて、ワクワクした気持ちでいっぱいようです。ひとつ大きくなるという子どもたちのパワーを自信に繋げて、これからもびのびと自分を表現し、それぞれの持ち味が活かされる楽しい保育をしていきたいと思っています。 日出みみょう保育園 主任